

ご意見
対応

一つひとつの声をカタチにしています！

皆さまから届いた地域の声を現地で確認し、警察や埼玉県庁・戸田市役所に対応を要望・協議して解決を目指します。お気づきの際は、写真や場所を明記の上ご連絡ください。より良い街づくりのため、全力で取り組んでまいります。

南町交差点 横断歩道を新設

南町の地元町会からの要望により、町会・近隣マンション・地元小学校からの要望書を取りまとめ、警察に要望。隣接する横断歩道を移設する形で新設が実現。



新曽北小学校前 交差点 音響式信号機を設置

佐藤太信市議からの要望を受け、歩車分離信号に変更された事を認識できずに視覚障がい者が事故寸前となった交差点に音響式信号設置が実現。



南町交差点 押しボタン連動解除

押しボタン式信号を「連動式」から「単独式」への変更を実現



氷川町1丁目 交差点 押しボタン連動解除

なかなか変わらない押しボタン式信号を改善



あいパル(西) 交差点 押しボタン連動解除

歩行者用信号を22時までは定周期で青に変わるよう改善



笹目1〜3丁目 交差点 信号機をLED式に交換

地元より「信号が黒ずんで見えにくい」という意見があり実現



本町1丁目 交差点 右折信号秒数の見直し

交通量の多い通勤時間帯の秒数調整により渋滞緩和へ



美女木 交差点周辺 3箇所の信号を調整

大きな交差点の青信号の時間を見直し渋滞緩和へ



五差路 交差点 信号サイクルを改善

左折車と歩行者の接触リスクを軽減し、事故発生を防止



川岸1丁目 交差点 右折信号の時間を延長

朝の時間帯の青信号時間を延長し、渋滞緩和へ



北大通り 高校送迎バス停止場所改善

地元企業のご協力により、生徒の安全な乗降環境が実現



皆様のご意見を募集しています！

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。



無所属県民会議 戸田支部 この桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL・FAX: 048-235-5358
ホームページ <https://konnomomoko.com/>
メールアドレス info@konnomomoko.com



この桃子 県政報告レポート第58号(2026年6月発行)

【討議資料】

令和8年度「埼玉県予算特大大号」

埼玉県議会議員
無所属県民会議

この桃子

この桃子プロフィール

【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校・頤栄女子学院中学校・高校・慶應義塾大学・慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))・内閣府非常勤職員・国会議員公設秘書・戸田市議会議員(2期)・埼玉県議会議員(戸田市初の女性県議、歴代最多得票で2期目当選)、市内にて美容室を経営、2児の母
【資格等】保育士、防災士、全国手話検定1級、書道師範、FP3級

実現! 戸田駅・北戸田駅にホームドア設置が決定!!

こののは北戸田駅の人身事故の増加を重く受け止め、何度もホームドアの早期設置を強く訴えてまいりました。

令和5年6月 一般質問にて訴える

北戸田駅の死亡事故は、2022年全国ワースト1位。こののはこの衝撃的な事実を重く受け止め、一般質問でホームドアの早期設置を県に強く訴えました。

令和6年2月 予算特別委員会にて訴える

予算特別委員会において、ホームドアの早期設置に向けて改めて強い要望を行うなど、前年の訴え以降も様々な場で訴えを重ねてまいりました。

多くの皆さんの声と関係者の取り組みにより、ホームドア設置費用が令和8年度予算に計上されました!

戸田駅、北戸田駅(2駅4番線分)へホームドアの設置が決定!

令和9年度末設置完了予定
戸田公園駅についても引き続き要望を続けてまいります。

実現! 直近で実現した取り組みの数々



和光南特別支援学校 全面建替が決定!!

教室・トイレ不足、バリアフリー未対応と深刻な過密化が続く現場をこののが声をかけて会派で視察。令和7年度予算特別委員会で改善を訴え、和光南特別支援学校の全面建替が決定、実現しました。



歴代受賞者表彰を実現

「SAITAMA Smile Womanピッチ」10周年記念表彰にて8名の方々が表彰されました。



療育手帳の成人判定期間が短縮

判定に対応できる人数を増やし、判定期間が112日間から59.5日間に短縮しました。



ボートコース合宿所 浴室等の改修を実現

戸田漕艇場の改修を実現。今後は宿泊者以外の利用拡大を求めています。



県民と取り組む 合併浄化槽*

「川の再生交流会」で水質改善が主要テーマに取り上げられました。

令和8年度埼玉県予算「歴史的課題への挑戦と未来への躍進」は中面へ

令和8年度 埼玉県予算&県の事業とこのの取り組み

いま政治には、超少子高齢社会への対応や、激甚化する自然災害への備えが一層求められています。こうした中で、地域の切実な声を県政に届け、笹目川排水機場の増強や戸田公園樋門の設置・運用をはじめとする水害対策や、市内二駅へのホームドアの設置決定などさまざまな課題を着実に前進させてまいりました。このの桃子は、「日本一暮らしやすい埼玉の実現」に向け、これからも課題に正面から取り組んでまいります。



一般会計 **2兆4,348億6,500万円**

全会計合計 **3兆9,269億3,809万1千円**
(一般会計・特別会計・企業会計) 前年度比6.1%増

「日本一暮らしやすい埼玉」5か年計画の総仕上げ

1. 安心・安全の追求



北大通り雨水貯留管完成式典



防災ヘリコプター試乗会

災害・危機に強い埼玉の構築

- 被災者生活再建支援基金への拠出.....19億8,300万円
- 災害・事故に強い県営水道施設の整備.....73億8,700万円
- 下水道施設の老朽化対策及び災害対策の推進.....300億2,400万円
- 防災関連公共事業の推進.....292億2,000万円
- 河川・砂防施設の管理徹底、強化.....190億9,600万円
- 流域治水対策の推進.....143億5,500万円

県民の暮らしの安心確保

- 警察施設の新設・改築等.....44億9,800万円
- 交通安全施設の整備.....61億5,600万円
- 暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備...38億4,300万円
- 家畜防疫体制の強化.....12億2,300万円
- 安全・安心な水の安定供給.....111億5,400万円
- ひとり親家庭への支援.....16億3,100万円

介護・医療体制の充実

- 市町村介護保険制度運営の支援.....1,076億2,500万円
- 介護人材の確保・定着の促進.....17億8,600万円
- 市町村国民健康保険事業への支援.....600億600万円
- 医師確保対策の推進.....19億7,500万円



2. 誰もが輝く社会



和光南特別支援学校保護者とのタウンミーティング



埼玉県立歴史と民俗の博物館(さいたま市)

3. 持続可能な成長



荒川水循環センター(戸田市)



茨城県地域気候変動適応センター(茨城県水戸市)

子育てに希望が持てる社会の実現

- 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取組の推進...522億7,800万円
- 子育てに係る経済的負担の軽減.....353億6,100万円
- 放課後児童クラブの充実.....95億8,500万円

未来を創る子供たちの育成

- 私学の振興と父母負担の軽減.....680億円
- 学校教育のデジタル化の推進.....115億3,100万円

人生100年を見据えたシニア活躍の推進

- ねりんピック彩の国さいたま2026の開催.....21億1,400万円
- 自殺対策の強化.....3億1,600万円

誰もが活躍し共に生きる社会の実現

- 医療的ケア児者とケアラーへの支援.....4億8,100万円
- 働き方改革の推進.....11億8,400万円

支え合い魅力あふれる地域社会の構築

- 特色ある県営公園の整備.....66億3,900万円
- 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備....98億6,800万円



未来を見据えた社会基盤の創造

- 安全・安心を確保するための道路の維持管理.....162億1,500万円
- 「あと数マイル・プロジェクト」の推進.....152億1,600万円
- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進.....19億7,800万円

豊かな自然と共生する社会の実現

- 恵み豊かな川との共生.....13億500万円
- サーキュラーエコノミーの推進.....10億1,700万円
- カーボンニュートラルの推進.....7億8,300万円

稼げる力の向上

- 地域に貢献できる産業団地の整備.....76億7,200万円
- 資金調達の円滑化支援.....総融資枠:3,600億円
- 商工団体等を通じた小規模事業者への経営支援.....33億5,300万円

儲かる農林業の推進

- 農業生産基盤の整備.....59億4,400万円
- 農林水産試験研究の推進.....11億2,800万円
- 森林・林業基盤の整備.....16億6,800万円
- 農業の新たな担い手育成.....3億8,100万円



歴史的課題への挑戦

人口減少・超少子高齢社会への対応

持続可能なまちづくりと経済成長の実現

- 生産性向上や賃上げ環境の整備等への支援...54億1,042万円
- 「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出....4億3,344万円
- サーキュラーエコノミー(CE)の推進.....3億6,747万円



こどもまんなか社会の実現

- 特別支援学校の整備.....27億3,242万円
- 学校体育館等における空調整備.....36億4,030万円
- 保育士になる夢を後押し.....2,971万円



更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

- 中小企業等の更なるDXの推進.....29億9,459万円
- 学校DXの更なる推進.....2億2,053万円
- デジタルで変わる未来の県庁.....2億6,432万円



激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

- 八潮市道路陥没事故を踏まえた下水道管の老朽化対策...流域下水道事業会計48億8,310万円
- 埼玉県版FEMA※1による災害対応力の強化...1億1,328万円
- 次なる感染症に備えたDX体制強化.....9,020万円



地元の課題 (一部抜粋)

市野川の整備

城南新宿橋から市野川橋（百穴前）までの区間は、河川が大きく左に90度にカーブしており、出水時には流水が市街地側の右岸堤防に直接当たる構造となっている。万が一、この区間が決壊すると東松山市東部地区全域が浸水し、大きな被害が発生することが心配されることから、地域住民は早期の拡幅と右岸堤防の強化を望むが、この区間の整備の見通しについて。



部長答弁 令和6年度から、城南新宿橋から市野川橋までの880m区間の河川改修に着手した。市街地と隣接する右岸側（新宿町側）の堤防を厚くし、強固にする計画としている。この区間では、河川を左岸側に広げた後、

若松町一丁目交差点の渋滞解消

若松町一丁目交差点は、変則な形状の5差路であり、交差点の北側には右折帯が無いいため、大型商業施設方向に向かう多くの右折車両により渋滞が発生している。

このことから若松町一丁目交差点の対策について、現在の進捗と今後の見通しについて。

部長答弁 この交差点の整備に向け、令和4年度に市道の管理者である東松山市と協議を開始した。とともに、交差点形状を検討する上で必要となる交通量調査を実施している。今後は、将来交通量推計や現地の測量等を行い、その後、設計等を進めてまいります。令和6年度は、継続して市と協議を重ねる

■ 無所属県民会議の「令和7年度予算要望」の回答がありました

令和7年度予算要望として東松山市・川島町・吉見町の地元要望を含めて県政全般に関わる事項371項目の政策要望に対し、大野知事から2月12日に回答がありました。形になったものもあれば、なかったものもありますが、引続き政策実現に向けて頑張っていきたいと思います。



ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。



発行 無所属県民会議
埼玉県議会議員 **松坂喜浩**

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuoka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ
県議会ジャーナル 第38号
令和7年4月発行

特集 2月定例議会報告 ほか

議会報告

2月定例議会報告 (2月19日～3月27日)

令和7年度当初予算審査 (新規事業を一部抜粋)

- ◆ 令和7年度一般会計予算を可決 (総額 2兆2,308億9,000万円)
 - ◆ 令和6年度一般会計補正予算(5)を可決 (総額 557億8,677万円)
- ※1月28日に発生した下水道管の破損及びそれに起因する道路陥没への対応等

一般質問報告 (一部抜粋)

- ・ 埼玉医科大学との「保健医療に係る連携に関する協定」について
- ・ 民生委員・児童委員の確保

地元の課題 ・ 市野川の整備について ・ 若松町一丁目交差点の渋滞解消



西第12区
(川島・吉見・東松山)
6月定例会は
6/12(木)開会

知事から提出された議案は、予算24件、条例改正24件、契約の締結2件、訴えの提起3件、事件議決5件、計画の策定6件等です。(当初分)

団塊世代の皆さまが75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障サービスの需要が急増し、社会保障費が増大してくるとされる2025年問題、いよいよその年を迎えました。

そして超高齢化社会の到来で、社会保障制度の継続が極めて困難になることや、上下水道の社会インフラや公共施設等の老朽化が進む2040年問題。

私の施策の柱として「未来へ繋ぐ持続可能な郷土・いのちと暮らしを守る政治」を基本に、引続き誰もが生き生きと安心して暮らせる埼玉県づくりに全力で取り組んでまいります。



1月28日に八潮市内で発生した下水道陥没事故により、安否不明の方や、事故の影響を受けられています全ての皆様にお見舞い申し上げます。

※ 埼玉県では、八潮市における道路陥没事故に係る復旧対策工事費として当初40億円を計上し、更に国庫より45億円、企業債5億円を追加し、合計90億円となります。

令和7年度当初予算 (新規事業を一部抜粋)

2兆2,308億9,000万円

重度心身障害者への医療費負担

→ 55億5,456万円

精神障害者保健福祉手帳2級所持者の医療費無償化について、私も一般質問等で提言していますが、令和7年度から精神障害者2級の精神科通院医療費を助成する市町村に対して県が財政支援を行うことにより、定期通院等を促進し、再発や重症化を予防します。

しかしながら、今回対象になるのは、精神障害者2級で自立支援医療を使っている人の精神科外来のみであり、障害種別により格差があり、今後もその是正が必要となります。

民生委員の担い手確保対策支援

→ 3,741万円

市町村による地域の実情に応じた欠員解消・負担軽減策の提案など、民生委員協力員制度の導入や、タブレットを活用した民生委員活動のICT化支援

市町村と連携した防犯対策の推進

→ 3,780万円

犯罪の抑止・検挙に有効な防犯カメラの整備、多発する特殊詐欺の被害防止に有効な特殊詐欺対策機器の普及促進及び自主防犯活動の担い手不足に対応するため自主防犯活動の支援を行う市町村に対し、補助金を交付します。

医療的ケア体制充実事業【拡充】

→ 2億4,800万円

医療的ケア児が福祉タクシー等を利用して通学する際に同乗する看護師の配置について、利用希望者の増加への対応します。

産業団地整備 (吉見町大和田地区)

→ 21億8,666万円(県全体: 48億2,847万円)

総事業費60億円、令和8年度完成を目指します。県内産業の振興や地域の均衡ある発展を図るため、地元市町村と連携して県内6産業団地の整備を進めています。特に、吉見町大和田地区は今年度予算21億8,666万円を計上し、令和8年度完成を目指します。



松坂の一般質問から (一部抜粋)

埼玉医科大学との「保健医療に係る連携に関する協定」

「地域医療を支え人材の育成及び確保・定着に関すること」は、県内医療機関に対する医師派遣も含まれているのか、また、順天堂大が予定していた医師派遣をカバーできるものか。

部長 答弁 埼玉医科大学は、令和5年度では、県内病院の4割を超える150病院に医師を派遣いただいております。特に秩父や北などの特定地域には常勤・非常勤を合わせて約350名の医師派遣となっています。

順天堂大学の医師派遣計画では、令和9年11月開院までには2名、その後漸増し、令和14年11月からは20名となる予定でしたが、整備計画は中止となりました。

これをカバーするという観点では、令和7年度予算案において寄附講座の補助枠をこれまでの6名から11名へと5名分を増枠しました。

本県の医師育成奨学金の貸与医師については、義務従事者数が令和14年度には40人を超え、このうち約4割が埼玉医科大学の出身になると見込んでいます。

県内有数の医療機関である埼玉医科大学との連携を一層深めることにより、更なる医師確保に取り組む。

民生委員・児童委員の確保

民生委員・児童委員の業務が多忙なことは承知していると思うが、県としてサポートする取組みについて伺う。また、欠員地区では隣接地区の民生委員・児童委員等が担当して地域活動を担っているが、その欠員地区での活動費は支給されていないことについて、県として活動費を支給することを検討しているのか。

部長 答弁 民生委員は、一人で平均約280世帯を担当しており、高齢者世帯や生活困窮者世帯などを訪問し、相談や見守りなどの活動を行っている。

県として、令和7年度予算において、民生委員の活動を補助する協力員制度導入やICTを活用して業務効率化を図る取組みなどを実施する市町村への補助事業を計上し、民生委員をサポートして行きたいと考えている。

また、民生委員には、民生委員法により給与は支給されていないが、活動に要する経費の実費弁償として、県は一人当たり年60,200円の活動費を市町村に補助している。

県として、欠員地区を担当した場合、その分の活動費を支給すべきことについては、活動実態を踏まえて支給することにしたいと考える。

その他 一般質問で取上げた項目

- ◆ 現役世代のがん患者などに対する雇用支援について
- ◆ 保育園などにおける、いわゆる「気になる子」への支援について
- ◆ 50歳以上の带状疱疹予防接種の補助について
- ◆ 部活動の地域移行による参加者費用負担について
- ◆ 看護師・准看護師の育成について
- ◆ 児童・生徒の悩み解消について
- ◆ 移住促進について
- ◆ 県営公園への災害時にも利用できるトイレの設置について
- ◆ 地域包括支援センター委託費について
- ◆ 高齢者が地域で働ける場の確保と活用企業への支援について



会派視察

障がい者歯科診療施設の現場確認

6月13日に埼玉県社会福祉事業団「あさか向陽園」へ「診療待機時間に関して」お声(要望)を頂いたので確認のため無所属県民会議で伺いました。

あさか向陽園は、障がい者歯科診療所以外に生活介護、施設入所支援、就労継続支援B型があります。作業所では皆さんが黙々と作業を行っていました。食堂や入所施設も見せて頂きましたが、昭和58年から現施設を使用しているため、老朽化やユニバーサルデザインではない部分もありました。

診療時間に関して確認すると、緊急時を除き3か月間の順番待ちをお願いする状況であり、その原因は下記のものでした。

- 診療の際に麻酔が必要であったり、環境や様々な機器に慣れることができず診療時間が長時間になる場合もあること。



- 狭い診療室が1室、診療台が2台と設備面に問題があること。

- 人員体制に余力がないこと。

今後再整備の議論も出てくると思います。今回の視察を活かして良いものにしていきたくと考えます。また、埼玉県で行っている障がい者歯科診療施設はあさか向陽園を含め4ヶ所。県内の歯科医院でも障がい者歯科診療を行っているところはありません。各市町村でも環境整備を検討していなくてはならないと感じています。



整備が完了した都幾川
鞍掛橋右岸

間もなく完成の都幾川
稲荷橋右岸



会派と知事が一丸となって県政推進



ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。

発行

無所属県民会議
埼玉県議会議員

松坂喜浩

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>



ホームページ



ブログ



無所属県民会議

埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ
県議会ジャーナル第39号
令和7年8月発行

特集 6月定例議会報告 ほか

議会報告

6月定例議会報告 (6月12日～7月2日)

令和7年度補正予算

- ◆ 令和7年度一般会計補正予算(1) (58億6,298万円)
- ◆ 令和7年度一般会計補正予算(2) (34億4,173万円)
- ◆ 流域下水道事業会計補正予算 (41億1,030万円)

地方創生と移住促進

- ・ 優良田園住宅制度のしくみと活用、建設の促進について

【会派視察】

障がい者歯科診療施設の現場確認



西第12区

(川島・吉見・東松山)

9月定例会は
9/24(水)開会予定

第75回 全国植樹祭(5/25)



第54回 市民総合体育大会開会式(7/12)



何事にも常に調査を優先します



埼玉県農政推進は現場から

6月定例会では、知事から提出された議案は予算2件、条例改正11件、専決処分の承認1件、和解1件、議員提出議案18件です。

令和7年度補正予算

令和7年度一般会計補正予算 (1) 58億6,298万円 / (2) 34億4,173万円
流域下水道事業会計補正予算 41億1,030万円

以下、主な議案について報告致します。

- 八潮市の道路陥没に伴う復旧工事費や下水道局における定数改定への対応として41億1,387万円。
- 国の高校無償化の先行措置に係る予算修正に伴い、高等学校等就学支援金制度で所得制限を受けている年収910万円以上の世帯の高校生等を対象に高校生等臨時支援金を支給するとともに、高校生等就学給付金について、国公立高校等(全日制等)に通う非課税世帯の第1子の給付額を第2子以降と同額に増額するとして50億2,942万円。
- 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援として、国の負担軽減策の対象となっていない特別高圧電力及びLPガスについて夏場の3か月間の支援に34億4,173万円。
- 国の令和6年度補正予算への対応として医療需要の変化に直面する医療機関への支援、農業の持続的な発展のため、農作業の受託等により農業者の作業負担を軽減するサービスを提供する農業サービス事業体に対し、スマート農業機械の導入や専門人材の育成に係る経費などを含め8億3,000万円。

地方創生と移住促進

松坂
質問

県内でも西北部においては高齢化や過疎化の進展により、地域社会の維持に深刻な影響が生じて来ることが推測されます。また、地域の活性化の観点からも、農村整備や定住の促進に資するとし、国は「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」が制定されています。

この「優良田園住宅制度」は、地域の活性化や移住を促進して定住人口を増やす取り組みとして活用できるのではないかと考えます。

制度の事業主体は市町村となりますが、県として制度の活用について、都市整備部長の見解を伺います。

部長
答弁

「優良田園住宅制度」は、豊かな自然環境の中で健康的でゆとりある生活を送りたいとのニーズに応えられるよう、農山村地域などで優良な住宅の建設を後押しするものとして創設されました。

「優良田園住宅制度」を地域独自の取組に生かすことは、移住を希望する人を呼び込み、その後の定

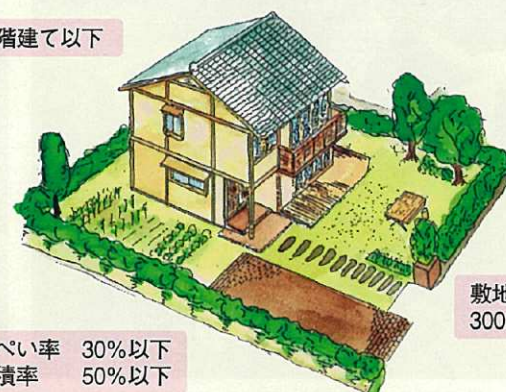
住を促し、地域の活性に繋がるものと考えます。

県としましては、地域の実情を踏まえ制度を活用頂けるよう、今後、市町村から相談があった場合は、開発許可など関連する制度との調整が円滑に進むよう支援してまいります。

●優良田園住宅とは

優良田園住宅とは、農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で、次の基準を満たすものをいいます。

3階建て以下



敷地面積
300㎡以上

建ぺい率 30%以下
容積率 50%以下

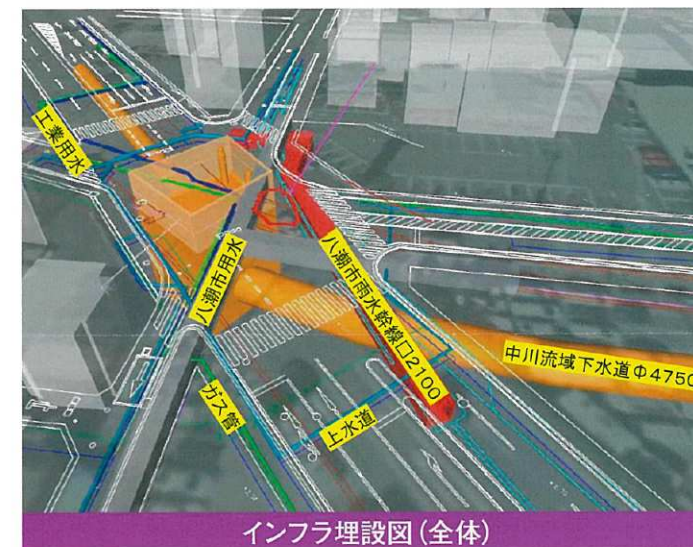
八潮市道路陥没事故調査等 特別委員会設置

1月28日に八潮市で発生した道路陥没事故への対応及び下水道施設の老朽化対策等を調査・検討する「八潮市道路陥没事故調査等特別委員会」が6月18日に14名の委員にて設置され、私もその一人として委員会に臨んでいます。

6月25日には八潮市の現地調査(事故現場には入れません)、27日に調査委員会が開かれました。

調査に当たった各委員より、「被害を受けた県民への補償は、国が対応すべきであるが、現状その制度がない。国での制度化に時間がかかるのであれば、迅速に対応するため、まずは、県が代位して補償することが必要である」と考えるがどうか。県が補償できない法的根拠はあるのか」また、「今回、県は緊急措置として、新方川への下水の放流という極めて例外的な対応を行ったが、地域住民や流域の市町に対し、どのように説明や周知が行われたのか。また、地域住民の不安を払拭するために、どのような取組を行ったのか」等の質疑。

私からは、事故発生原因については第三者委員会で調査するとしても3年前の管路調査結果(目視)からBランクに位置付けされていたこともあり、その後

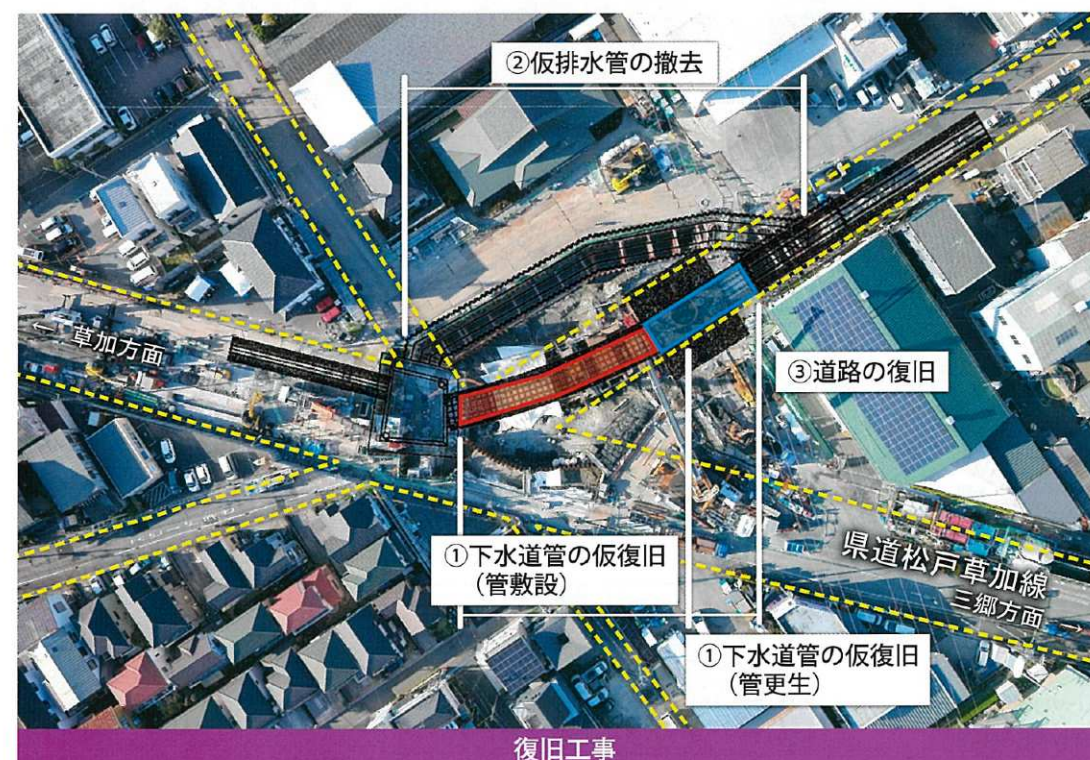


インフラ埋設図(全体)

の対応に問題はなかったのか。また、令和4年に川島町内で発生した下水道陥没事故から、その危険性と管路点検の在り方について伺いました。

何れにしても、国が定めた下水道管渠施設点検の5年に一度についての期間の見直し、必要経費の支出支援の提言をしました。

県議会としても、被害を受けた方々への支援、再発防止を徹底してまいります。



復旧工事



土本的措置(3/25)

1回目の陥没後(1/28)

スロープ造成後(2/12)



埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ

無所属県民会議

ホームページ

ブログ

議会報告

西第12区
(川島・吉見・東松山)

県議会ジャーナル

9月定例会(9/24～10/15) 議会報告

●12月定例会は12/1(月) 開会予定

第40号

令和7年11月発行

みなさんの声を直接県政に
ご意見・ご要望大募集!

地元要望と政策要望を大野知事に提出

【地元と県をつなぐ】

地元要望と政策要望を大野知事に提出

提出した東松山市・吉見町・川島町の地元要望(抜粋)

- 九十九川・新江川・市野川及び安藤川・横塚川の整備。
- 本町通線整備(若松町一丁目交差点整備促進)
- 外来・入院ともに医療費助成対象年齢を18歳年度末まで拡大。
- 自治体病院(市民病院)に対する財政支援の拡充。
- 中小企業・小規模事業者への支援。
- 主要地方道鴻巣川島線の整備及び大里比企広域農道の県道格上について。
- 川島インターチェンジ南側地区への企業誘致。
- 廃校利活用に関する都市計画法等の規制の緩和。
- 廃棄物放置対策、放置状態の不用品買取業者跡地のゴミ山の解決に向けた予算措置。
- イネカメムシの被害防止に向けた農業者への支援。




若松町一丁目交差点

東松山市民病院

令和8年度予算要望として東松山市・吉見町・川島町からの地元要望と合わせて県政全般に関わる事項192項目、各地元要望153項目、合計345項目の政策要望を取纏め、大野知事に提出、実現に向けて努力してまいります。



無所属県民会議3つの柱

- ◆ 子どもや障がい者等、社会的弱者への支援。
- ◆ 安心して生活することのできる環境、体制の強化。
- ◆ 暮らしと経済を守るための人材育成・確保策の推進。

地方創生と移住促進

埼玉県の人口は、今年9月1日現在、4カ月連続で減少し、推計人口は7,323,374人です。国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計によると、2050年の県人口は6,633,932人となり、約9%(約70万人)の減少が予測されています。

県内では川口市からさいたま市への移動や、さいたま市・和光市・蕨市などで人口増加が見込まれる一方、比企地域は滑川町を除いて人口減少が続いており、例えば東松山市では同じく9月1日の人口が92,838人で、2050年には78,779人となり、約15%減少すると推計されています。川島町は約40%減少して11,022人、吉見町も約43%減少して9,671人になる見込みです。

このような状況を改善するため、移住促進は重要な課題と捉え、私は地方創生と移住促進について政策提言を行っています。特に地域活性化の観点から、農村整備や定住促進に「優良田園住宅制度」を活用することは大きな成果に繋がると考えます。今後も、移住促進に力を注いでまいります。



知事から提出された議案は、補正予算2件、条例改正3件、変更工事請負契約の締結2件、人事議案7件、他議会関係議案15件です。

令和7年度9月補正予算を可決

今回の補正予算は、道路や河川などの公共工事を追加するとともに、国土交通省から要請のあった全国特別重点調査結果を踏まえ、県として速やかな対策が必要とした箇所の改築工事等を行います。

また、下水道管及び陥没した道路の復旧工事の影響を受ける地域住民及び事業者の皆様への補償等です。

一般会計補正予算(第3号)

88億4,620万円

【主な事業】

●病床数適正化支援事業 3億4,063万円

国の令和6年度補正予算「総合経済対策」の追加内示に対応するため、患者減少等により経営状況の急変に直面している医療機関への支援として、病床数の適正化(病床削減)を進める医療機関に給付金を支給するものです。

既に6月補正で100床、9月補正にて83床、合わせて183床が給付対象となります。(1床あたり410万円)

●公共事業の追加、適正工期の確保 84億4,197万円

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施で、私の地元では主要地方道深谷東松山線整備、一般県道青山熊谷線整備、一級河川新江川整備が含まれます。



無所属県民会議

埼玉県事業の進捗(一部紹介)

●主要県道深谷東松山線(上野本地内)の整備

長年にわたり要望されてきたインター周辺の整備が事業化されました。南中学校方面から熊谷方面へは、対面通行の一直線ルートでバイパスと合流できる整備が進められており、来年度完成予定です。



●一般県道青山熊谷線(大岡地内)の整備

東松山市と熊谷市を結び、県北・県央地域の経済活性化や生活文化交流を促進する重要路線です。令和9年度の完成を目指しています。



●一般国道407号(上岡地内)歩道整備の実施

上岡地内の未整備区間の安全対策を要望した結果、歩道が完成しました。国道沿いのバス停を利用する歩行者の安全が確保されました。



●主要県道東松山越生線(ぼたん通り)の整備

東松山駅から市役所を結ぶ中心市街地の重要路線で、地元の方のご協力を得て来年度着工予定です。併せて、東松山駅からピオパークまでの区間整備も期待されます。



まつざか
松坂よしひろ

議会報告

県議会ジャーナル

第41号

令和8年1月発行

みなさんの声を直接県政に
ご意見・ご要望大募集!

西第12区

(川島・吉見・東松山)

12月定例会(12/1～12/19) 議会報告

●2月定例会は2/19(木) 開会予定

令和7年度12月補正予算(4)(5)(6)を可決 / 東松山市立市民病院への財政支援 他

 12月定例議会報告【12月1日～12月19日】

知事から提出された議案は、一般会計補正予算3件、特別会計補正予算4件、条例7件、工事請負契約の締結2件、訴えの提起2件、その他33件の合計49件、指定管理者の指定30件、令和6年度決算の認定です。

また、議員提出議案として意見書8件、請願審査7件です。



令和7年度補正予算 累計

2兆3,325億3,781万円

(第4号) 24億764万円減額

(第5号) 108億850万円

(第6号) 750億9,602万円

今回の補正予算の主なもの、公共事業等の施行時期の平準化、適正工期の確保、下水道管及び陥没した道路の復旧に向け工事を進めてまいりましたが、事故現場の状況などを踏まえ、事業費の増額が必要となることから復旧工事費を計上します。

また、国の『強い経済』を実現する総合経済対策に基づく追加補正予算も計上されました。

公共事業等における施工時期の平準化・適正工期確保の取組み

債務負担行為として117億8,275万円が設定され、東松山県土整備事務所管内では新江川(天端舗装等)、市野川左岸(流川工区)、都幾川(天端舗装等)の河川改修事業への予算計上です。

また、社会資本整備総合交付金(街路)事業を活用した本町通線事業も含まれます。



新江川(天端舗装等)



市野川左岸(流川工区)



都幾川(天端舗装等)

主な追加補正予算(第6号)

- LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分を補助します。【➡46億9,186万円】
- 医療施設、福祉施設、私立学校等に対する支援として、高騰している光熱費等の影響を緩和するため、病院、一般・歯科診療所、調剤薬局、看護師等養成所、高齢者施設、障害者施設、保育所、児童養護施設、私立学校等に対し、補助します。【➡112億9,638万円】
- 保育所、幼稚園、児童養護施設、障害児入所施設等従事する職員に対し、令和7年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じ、処遇改善等における経費の一部を負担します。【➡22億343万円】
- クマによる人的被害等の防止に向けた緊急対策として、捕獲従事者向けの講習会や緊急銃猟想定訓練の実施、資機材の購入等を行うとともに、緊急銃猟等を行う市町村に対し、補助します。【➡1,085万円】



【TOPICS】東松山市立市民病院



東松山市市民病院

自治体病院に対する 財政支援の拡充を求める

意見書を作成するも提出には至らず

東松山市立市民病院の令和6年度の決算について、経常収支から経常費用を差し引いた経常損益は**8億4,154万766円**の損失(赤字)を計上する結果となり、前年度の繰越欠損金を合わせた当年度未処理欠損金(累計赤字)は、合計で**34億843万円**となっています。

公立、民間立を問わず、昨今の医療機関の経営においては、人件費の増加や物価高騰の影響により業務に要する費用が大きく増加しています。これに対し、公定価格である診療報酬は、独自の判断で価格転嫁を行うことができないため、診療報酬による収入では費用の増加分を賄うことができない状況であり、経営努力だけで対応するには限界があります。

市民病院は、地域医療の拠点となる中核病院として、広域的に近隣自治体からの救急搬送患者や他医療機

関からの患者を受け入れるとともに、小児や新興感染症等の採算性が低い政策医療を担っています。

しかしながら、国に準拠した給与改定により人件費が増加する等、医業費用が増加しており、市民病院のみならず多くの自治体病院では地方公営企業法に基づく一般会計からの繰出金を充当しても経常損益がマイナスとなっています。

このような状況の下、市民病院を支える東松山市からの財政支援により一般会計による負担が増すことになれば、市の財政運営にも支障を及ぼすおそれがあることは否めません。

12月定例会では財政支援の拡充を求める意見書を私が作成し、会派として提案しましたが、最大会派の賛同を得られず提出には至りませんでした。

現場の実情を考えると残念ですが、今後も粘り強く経営改善が進められるよう頑張っていきたいと思います。



埼玉県カスタマーハラスメント防止条例制定

カスハラの実態として、勤務日のほぼ毎日顧客と接している者の約20%弱がカスハラに影響しているにも関わらず特段の対応をしていない企業が約55%あるのが現状とされています。

その様な現状からカスタマーハラスメントを社会全

体でその防止を図らなければならず、県、顧客、事業者、事業者団体、就業者の責務を明確化し、誰もが安心して働くことができる就業環境を整備することを条例で決めました。

施行期日は周知期間を経て令和8年7月1日となります。

皆さまにおかれましては令和8年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、八潮市内で発生した道路陥没事故は、県民生活に多くの影響を及ぼし、全国的にも公共インフラ維持管理の在り方が問われることとなりました。

本年も皆さまの声を最優先に、「未来へつなげ 私たちの故郷」をスローガンとし、更なる住民福祉の向上に努め、全力で走り続ける 松坂よしひろ を何卒宜しくお願い致します。

